



2024年8月9日

各位

会社名 大幸薬品株式会社
代表者名 代表取締役社長 柴田 高
(コード番号: 4574 東証プライム)
問合せ先 コーポレート本部 経理部長 中條 亨
(E-mail: ir@seirogan.co.jp)

連結業績予想の修正及び 医薬品事業における生産体制の再編（減損損失の計上）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2024年3月7日に公表いたしました2024年12月期の連結業績予想を下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。また、医薬品事業における生産体制の再編を実施することを決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2024年12月期通期連結業績予想数値の修正（2024年1月1日～2024年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,800	410	360	550	10.97
今回修正予想 (B)	6,800	550	590	550	10.97
増減額 (B - A)	0	140	230	0	
増減率 (%)	0	34.1%	63.9%	0	
(ご参考) 前期実績 (2023年12月期)	6,120	△1,005	△1,248	△3,611	△76.25

(2) 修正の理由

当中間連結会計期間の業績と今後の見通しを踏まえ、通期連結業績予想を上記のとおり修正することにいたしました。

売上高につきましては、医薬品事業の堅調な需要により概ね計画通り推移するものと考えております。営業利益及び経常利益につきましては、為替影響や各種コスト低減の状況を踏まえ、前回予想を上回る見込みとなりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、後述の「2. 医薬品事業における生産体制の再編について」を踏まえ、前回予想を据え置いております。

2. 医薬品事業における生産体制の再編について

当社は、医薬品事業において、市場への安定供給という課題に対し、供給体制を強化するため、製造人員の増強やシフト生産体制の構築、京都工場の医薬品ラインの立ち上げ等に取り組んでまいりました。

このような中、医薬品事業の生産体制については、段階的に既存の吹田工場から京都工場への集約を予定しておりましたが、この度、中期的な需要見通しを踏まえ、BCPの観点や海外薬事への対応方針等を総合的に勘案し、より合理的で安定した生産体制を再検討した結果、吹田工場における老朽化対策の投資を行った上で、一定の生産を今後も継続し、2工場体制とする方針を決定いたしました。

この決定に基づき、生産体制の最適化を図るため、京都工場における生産設備の一部を吹田工場に移設し、一部を除却することにいたしました。これにより2024年12月期において230百万円程度を減損損失として特別損失に計上いたします。

上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上